



クラブ会報

会員スピーチ⑧



第 37 回例会 (通算第 614 回)

事務局 : 福島県福島市天神町 13-5 アンビックス 5 201 号 TEL:024-525-2331 FAX:024-525-2332

WEB サイト : <http://www.fukushima21rc.jp/> E-mail : f21rc@fukushima21rc.jp

☆会報・雑誌・広報委員会 委員長:松本和彦 委員:粕谷悦功 藤野圭史 樋口静克

< 2013-2014 年度 > 会長 : 阿部 正美 幹事 : 伊藤 淳一

THE FOUR-WAY TEST

四つのテスト

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

【日付】 4 月 3 日 (木)

【場所】 サンパレス福島

【開会点鐘】 18 時 30 分

【出席報告】

会員数: 54 名

出席数: 27 名

出席率: 50.94%

長期欠席者: 1 名

出席免除者: 5 名

【会報発行】

第 2530 地区県北第一分区

福島 21 ロータリークラブ

委員会報告

■財団 BOX

57,000 円

■スマイリング BOX

7,000 円

■米山 BOX

7,000 円

会長あいさつ

会長 : 阿部 正美

本日の例会は、会員スピーチで笹川会員にお願いしました。なかなか例会出席も忙しく難しそうなので、近況報告もかねてスピーチをお願いしました。後程よろしくお願ひします。先日の日曜日の、福島県学生囲碁大会では、多くの会員の皆様のご協力のもと、盛会裏に大会を終了することができました。誠にありがとうございました。以上で会長挨拶とします。



千里メイプルロータリークラブ会長藤田芳浩様よりお礼状が届いておりますのでご紹介いたします

福島 21 ロータリークラブ 阿部 正美会長様

拝啓 早春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

去る3月20日・21日の両日にわたり、姉妹クラブ合同例会と浜通りの被災地訪問に際しましては、一方ならぬ「おもてなし」を頂き誠に有難うございました。貴クラブの会報を拝見いたしますと参加した9名の幣クラブ会員が、貴クラブの会員様と長年の友人のように懇親を深め、日頃見たことのような笑顔を見せております。合同例会を開催し本当に良かったと心から感謝する次第です。さらに、御上産まで届けていただき全会員を代表して御礼申し上げます。今後ともさらなるご指導ご鞭撻をお願いいたします。末筆ながら、時節柄くれぐれもご自愛くださいませ。 敬具

2014 年 4 月 3 日 千里メイプルロータリークラブ 会長 藤田芳浩



4月 生まれの 誕生 者お 祝い



“誠にありがとうございます”

4/4 伊東 優子会員

4/16 野崎 正広会員

4/29 渡辺 浩成会員

4/29 橋内美智夫会員

会員スピーチ⑧：笹川 恵一会員

● 震災後の3年間について

福島での事業

3.11 の震災により解体廃棄物が増大した。地震や津波による廃棄物は建設廃棄物ではないために一般廃棄物として、処理は各自治体で行わなければならなかった。しかし想定外の多さに自治体の処理能力が対応しきれず、特例措置として産廃業者でも処理できるようになった。3年間福島市発注のガレキ処理等を引き受け、3月31日無事に契約終了。取り残された建物はまだあるが、福島市においては、震災瓦礫処理が一通り終了したといえる。

● 今後の事業模索中

建設産業はバブル以来冷え込んでいたものがこの震災で急回復したと報道された。しかし実態としては人手不足と資材高騰という、なかなか実にならないのが実情と推測している。建設産業の支えを国などに支援していただき福島の早期復興を願いたい。建設産業が伸びてはじめて結果として廃棄物処理の仕事があると思う。20数年廃棄物処理事業に携わって来たが、時代背景や波に押されてしまうという分野にあると思っている。どんどん作ってどんどん捨てるという時代は終わり、今は設計段階から廃棄物の発生量を抑える工法がみだされてきている。わが社は、出された廃棄物を適正に処理しなるべくリサイクルするという方針であるが先細り感は否めない。今後の事業転換も念頭に置いている。廃棄物処理がらみで新たな事業展開として、光学ガラス光学レンズのリサイクルを手がけていきたいと思っている。光学レンズは100の原料が20くらいの製品になってしまう物で、捨てられてしまった80をリサイクルで原料にしようと考えている。構想段階だが、今まで捨てられていた物を処分場から再度掘り出して原料を抽出する、処分場をもう一度使えるというチャンスも出てくる。原料、リサイクルそしてプラスαで処分場のリニューアル、一粒で二度美味しい。

● 福島で活性化の一助に

帰還困難区域の櫛葉町や警戒区域一部解除の小高町などに取り残された震災当時のままの瓦礫などを、なんとかリサイクルして復興資材に転用していきたい。

原発事故当初の爆発によりあちこちに飛んだセシウム134、137の半減期は30年、ゼロになるには300年かかる。重さでいうと3kgの放射性物質をかき集め、一箇所にとどめるという作業をていねいにしつつやることになる。その際に必要なのは、処理装置、処理の器、処理の作業。大手ゼネコンの受注になるだろうが、処理は我々の業界の方が専門であり、扱いに関しても今までの経験を活かして、影響が他に及ばないようにしっかりと管理しなければならない。双葉町、大熊町に中間貯蔵施設、櫛葉町には焼却炉を作るというが、廃棄物の減量化をしても放射性物質の濃縮した廃棄物が増える。

(以下省略)

【ご寄付者とBOXメッセージ】

■スマイルボックス寄付者■

千里メイプルロータリークラブ二次会にて

笹川さんのスピーチに感謝して 阿部正美・佐藤信博 囲碁大会、お疲れ様でした 銘形 仁

水野博光 安部宏 三瓶善明 佐々木廣充 笹川恵一 長澤なをみ 樋口静克 野崎正広

本田勝秋 大波紀仁 木村幸二 渡辺ひろこ 穴戸和則

■財団ボックス寄付者■

水野博光 安部宏 佐々木廣充 笹川恵一 本田勝秋 大波紀仁 今泉睦

■米山記念奨学会寄付者■

佐藤信博 水野博光 安部宏 笹川恵一 本田勝秋 大波紀仁 菅藤裕之



【本日のプログラム】

1. 開会点鐘
2. RC ソング斉唱
「我等の生業」
3. 四つのテスト唱和
4. お客様紹介と
会長あいさつ
5. 四月生まれの
誕生者お祝い
6. 福島県学生親善
囲碁大会開催報告
7. 幹事報告
8. 委員会報告
「お食事をどうぞ」
9. 会員スピーチ⑧
10. 閉会点鐘

【プログラム実施予定】

- 4月3日(木)
会員スピーチ⑧
- 10日(木)
月間スピーチ⑧
- 17日(木)
観桜会
- 24日(木)
クラブ協議会③
- 5月1日(木)
休会(5)GW
- 8日(木)
会員スピーチ⑨